

VI

生涯學習

# 1 就学前教育と保育の充実

|       |               |                   |                  |                          |
|-------|---------------|-------------------|------------------|--------------------------|
| ゴール   | 1 児童が<br>なごめる | 4 質の高い保育を<br>みんなに | 8 働きがいも<br>経済成長も | 17 ロボット・AIが<br>日本を豊かにしよう |
| ターゲット | 1.2           | 4.2, 4.6          | 8.5              | 17.17                    |

## 現状と課題

幼児期の教育・保育と学校教育との接続が円滑に行えるよう、認定こども園、幼稚園、保育園では、保育所保育指針等に示されている小学校就学時までに育んで欲しい姿や能力を身につけるための取り組みを行うとともに、各園で創意工夫をして質の高い教育・保育の提供に努めています。

町立保育園では、小学校へ入学するための準備として、年長児を対象に英語とふれ合うための「英語あそび」を導入し、就学前から小学校入学以降の学習まで円滑に接続できるよう取り組んでいます。

就学前教育は、子どもにとって生涯における人間形成の基礎を培うためのものであり、すべての子どもが安心して教育を受けられる環境を整備していく必要があります。

また、働きながら子育てをする家庭が増えており、その就労形態も多様化していることから、仕事と家庭を両立していくための支援として保育サービスを充実させていくことも重要であり、既存のサービスや制度について、より一層利用しやすいものとなるよう充実させていくことも必要です。

## 施策の基本方針

多様化する保育ニーズに対しては、認定こども園や幼稚園、保育園への支援を通じてサービスの質の向上を図るとともに、入園希望者全員を受け入れていけるよう各園間の連携を促進します。

また、認定こども園・幼稚園及び保育園から小学校、児童館への連携を強化し、就学前教育・保育と学校教育との円滑な接続を図ることで子ども達への教育を切れ目なく支援していくとともに、すべての子どもに就学前教育・保育を保障するため、保護者に対しては、経済的負担の軽減を図っていくことで安心してサービスを利用できる環境を整備していきます。

## 主な取り組み内容

- 保育サービスの充実
- 児童館・学童保育の充実
- 保護者が安心して働ける保育環境の整備
- 認定こども園、幼稚園、保育園、小学校、児童館による情報交換の推進
- 認定こども園、幼稚園、保育園への支援
- 施設型給付費【※24】の支給

## KGI（重要目標達成指標）






|                        | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|------------------------|---------------|---------------|
| 就学前教育と保育について満足している人の割合 | 32.9%         | 34.6%         |

## KPI（重要業績評価指標）

|                                 | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|---------------------------------|---------------|---------------|
| 学童保育児童数                         | 597人          | 643人          |
| 学習サポート利用者数                      | 35,639人       | 44,660人       |
| 認定こども園、幼稚園、保育園、児童館、小学校情報交換会議の回数 | 2回            | 6回            |

※24 施設型給付費…認定こども園、幼稚園、保育所を対象とした財政支援費のことをいいます。

## 2 教育環境の充実

|       |  |   |   |  |  |
|-------|--|---|---|--|--|
| ゴール   | 3  | 4  | 8  | 10  | 17  |
| ターゲット | 3.6  | 4.1, 4.4<br>4.6, 4.a  | 8.6   | 10.2   | 17.17  |

### 現状と課題

情報化やグローバル化に加え、人工知能の進化など、変化のスピードが加速している社会において、子どもたちがたくましく生きていくためには、一人一人に確かな学力を身につけさせるとともに、広い視野を持って変化を前向きに受け止める力や豊かな人間性を育てていくことが求められています。

学校においては、「GIGAスクール構想【※25】」による一人一台の情報端末の配備やネットワーク環境整備を行い、ICTを効果的に活用しながらすべての児童生徒に学びを保障するための取り組みを進めているほか、学校の諸問題に対し中立的な立場から助言を行うスクールロイヤー【※26】を設置し、子どもたちがより充実した学校生活を送れるよう努めています。

また、適応指導教室（あゆみ教室）やスマイル教室【※27】を活用した不登校の子どもたちへの支援のほか、PTA組織などを活用した学校と家庭との情報共有、地域ボランティアによる教育活動への支援を継続的に行っています。

子どもたちが確かな学力や豊かな人間性などを身につけていくためには、これまでと同様に学力向上や心身の健康に向けた取り組みを継続する一方、ICT活用指導力を含めた教職員の資質・能力を更に向上させるとともに、学校・家庭・地域の連携や協力をこれまで以上に強化し、社会の変化に伴う新たな課題の解決に取り組んでいく必要があります。

さらに、子どもたちが学び、生活する場である学校施設は、避難所や地域活動の拠点としての役割も担う重要な施設であることから、老朽化している施設については、安全面や施設維持の観点から、長寿命化に向けた改修など適切な維持管理に努めていく必要があります。

### 施策の基本方針

研修等を通じて教職員の資質・能力の向上を図り、社会の変化に対応できる指導力を養うとともに、ICTを効果的に活用し、適応指導教室（あゆみ教室）やスマイル教室における不登校の子どもたちを含めたすべての子どもたちの学びを保障することで、全体的な学力向上に取り組んでいきます。

また、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たせる体制を維持していくことで、新たな教育課題についても迅速かつ丁寧に解決していきます。特にいじめや不登校などについては、SNS等のトラブルから派生するものを含め、未然防止教育に重点を置くとともに、教育研究所の適応指導教室（あゆみ教室）やスマイル教室、教育相談等を有効活用し、子どもたちや保護者に寄り添った支援を行っていきます。

また、外国籍の子どもたちに対する日本語教育の更なる充実を図るとともに、学校生活への適応や学力向上のための取り組みを引き続き推進していきます。

学校施設については、財政負担の平準化を図りながら、長寿命化に向けた大規模改修もしくは部分改修を行い、子どもたちにとってより良い教育環境の維持・向上を図っていきます。

※25 GIGAスクール構想…GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略称であり、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人ひとりに合った最適な教育を全国で実現させる構想です。

※26 スクールロイヤー…学校で発生する様々な問題について、子どもの最善の利益を念頭に置きつつ、法的観点から継続的に中立的立場で学校に助言を行う弁護士のことをいいます。

※27 スマイル教室…児童生徒の居場所づくり事業で取り組んでいる、不登校の児童生徒が安心して来室できるような支援の場のことです。

## 主な取り組み内容

- 教職員の資質・能力を高める研修や学校訪問指導の実施
- ICTを効果的に活用した授業の推進
- 適応指導教室（あゆみ教室）やスマイル教室による、不登校児童生徒及び保護者への支援の充実
- いじめ防止活動の充実
- SNSに関する指導を含めた情報モラル教育の実践
- 日本語指導や学校生活への適応指導など、外国籍の子どもたちに対する支援の充実
- 学校施設・設備の整備改修

## KGI（重要目標達成指標）

|                    | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|--------------------|---------------|---------------|
| 教育環境について満足している人の割合 | 26.1%         | 27.4%         |

## KPI（重要業績評価指標）

|  | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|--|---------------|---------------|
| 全国学力・学習状況調査結果で「国語や算数(数学)の授業がよくわかる」と答えた割合 | —             | 90.0%         |
| 全国学力・学習状況調査結果で「学校に行くのは楽しい」と答えた割合         | —             | 93.0%         |
| 小中学校の校舎長寿命化改修工事着工数                       | —             | 3校            |

## 3 生涯学習の推進

ゴール



ターゲット

4.7

17.17

### 現状と課題

生涯学習の推進については、個々のニーズに即した各種講座を開催し、住民の学習意欲に応える講座の充実を図るとともに、サークルや各種団体と連携した事業を通じて、地域活動の中でそれぞれが学んだ知識や技能を生かせる機会の提供に努めています。

また、家庭教育学級については、座学だけではなく、ワークショップ形式の講座に加え、実際に子どもと一緒に参加しながら親子のかかわり方を考える講座なども行うとともに、高齢者教室については、自身の健康維持や生きがいづくりのための学習のほか、世代間交流など社会活動へ参加するための学習機会を提供しています。

町民が生涯を通じて自主的に学習し、生活を豊かにすることを支援していくためには、その学習意欲にしっかりと対応していくことが重要であり、多様化する町民のニーズに対応した講座開催について検討を進めるとともに、より多くの町民に各ライフステージの課題を解決するための学習機会を提供するほか、それぞれの主体的な学習活動の継続に向けた支援を行う必要があります。

### 施策の基本方針

町民が生涯を通じて自主的に学習し、生活を豊かにしていくために、各ライフステージにおける学習意欲を踏まえながら、幅広い分野についての講座などを開催していくとともに、主体的な学習活動の継続を支えられるような活動支援や情報提供を行っていきます。

また、町民の学習意欲が継続していくよう、「協働のまちづくり人材バンク」の活用も視野に入れ、それぞれが学んだ知識や技能を自らが指導者となって生かしていける取り組みを行っていきます。

さらに、公民館を拠点としてグループ・サークル活動や地域活動を促進していく中で、それらの団体の担い手の維持、開拓に努めていくとともに、図書館については、「大泉町立図書館ビジョン」に基づき、町民や地域に役立つ学びの拠点としての機能を充実させていきます。

### 主な取り組み内容

- 各ライフステージの課題に合わせた講座の開催
- 学習意欲に応える幅広い内容の講座の開催
- 学習活動や地域活動への支援
- 各種団体・サークル及び地域活動の育成・支援を重視した公民館運営
- 図書館サービスの充実

### KGI（重要目標達成指標）

|                       | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 生涯学習の推進について満足している人の割合 | 27.8%         | 29.2%         |

### KPI（重要業績評価指標）

|                       | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 各種生涯学習講座の定員に対する参加率    | 88.4%         | 100.0%        |
| 各種生涯学習講座の参加者アンケートの満足度 | 86.5%         | 100.0%        |
| 図書館資料の貸出点数            | —             | 202,000点      |

## 4 青少年育成の推進

ゴール



ターゲット

3.5

17.17

### 現状と課題

青少年の健全な育成への取り組みとして、家庭や学校、地域、関係機関などが相互に連携しながら青少年健全育成推進運動を推進している中、ICTの進展により青少年の基本的な生活習慣の乱れや実社会での対人関係の希薄化が進み、コミュニケーション能力の低下や社会的自立の遅れなどの問題が生じています。

小学生を対象とした「放課後子ども教室」や、中・高校生を対象とした「青少年リーダー養成講座」など、様々な体験活動や交流活動の機会を提供していますが、青少年を取り巻く環境の変化に対応した支援を行うことも重要です。

引き続き「放課後子ども教室」をはじめとする多様な体験や人と出会える機会を提供していくことに加え、進展を続ける社会のデジタル化に対応していけるよう、インターネットやSNSの適正利用についての啓発についても取り組んでいく必要があります。

### 施策の基本方針

青少年が安全で健やかに成長していける環境を整えるため、家庭、学校、地域、その他関係機関・団体などと連携しながらパトロール活動を行うとともに、青少年の体験活動のほか、様々な世代との交流活動に取り組んでいきます。

また、社会のデジタル化に青少年や周囲の保護者が対応し、青少年自身がインターネットやSNSの利用による加害者や被害者にならないよう、時代に即した正しい利用方法の更なる周知啓発を行っていきます。

### 主な取り組み内容

- 青少年の様々な世代との交流体験活動の実施
- 青少年を取り巻く環境の変化に対応した啓発や講座の開催
- 各種機関・団体との青少年に対する情報共有や連携
- インターネットの適正利用についての周知啓発

### KGI（重要目標達成指標）

|                        | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|------------------------|---------------|---------------|
| 青少年育成の推進について満足している人の割合 | 23.1%         | 24.3%         |

### KPI（重要業績評価指標）

|                           | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 青少年健全育成講演会の定員に対する参加率      | —             | 100.0%        |
| 放課後子ども教室の出席率              | 97.3%         | 100.0%        |
| インターネット等の適正利用に関する周知啓発事業回数 | 3回            | 7回            |



## 5 スポーツ・芸術文化の振興

ゴール



ターゲット

17.17

### 現状と課題

地域を主体とした各種スポーツ団体などの活動が活発に行われている中、町民体育祭をはじめスポーツ・レクリエーション祭などの各種スポーツイベントを開催していますが、事業内容に固定化の傾向が見られます。町民の健康増進やスポーツを通じた地域の交流を更に促進していくために、より多くの町民に参加してもらえるよう事業内容の改善に取り組んでいます。

また、町民体育館のアリーナ床の改修や照明のLED化のほか、スバル運動公園内にテニスコートを新設するなど、町民が自主的にスポーツを楽しめる環境の充実を図っています。

ラグビーワールドカップ2019が開催された際には、本町と関係の深い代表選手を招き、町民参加の下でイベントを開催したほか、東京2020オリンピックの聖火リレーの中継地点としてセレモニーを行い、スポーツを通して地域の一体感の醸成に努めました。

芸術文化に関しては、公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団とも連携しながら様々な事業を実施しており、多くの町民が参加しています。

町民の生活をより豊かにするためには、今後もスポーツや芸術文化の活性化を図っていくことが重要であり、社会の動向を踏まえながら引き続き町民ニーズを捉えた事業を展開していくことで、「町民皆スポーツ」の実現や町民の芸術や文化に対する関心を更に高めていくとともに、スポーツや芸術文化活動を行う団体等への支援を行っていく必要があります。

さらに、各種団体の活動の拠点となる施設については、利用者の安全を確保しながら快適に利用できるよう運営していく必要があります。

### 施策の基本方針

より多くの人々がスポーツに親しみ、楽しんでいけるよう、引き続き参加型のスポーツイベントを開催していく中で、新しい種目の導入など事業内容の改善を図るほか、参加者の健康や安全を最優先に、必要な対策を講じながらスポーツの振興を図っていきます。

また、関係機関等と連携しながら各種スポーツやその選手と触れ合う機会を設けるなど、様々な機会を捉えながらスポーツをきっかけに町民の交流を促進し、地域活性化につなげていきます。

また、芸術文化の振興においては、芸術文化団体の支援や活動機会の提供などを行うとともに、公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団とも連携しながら、新たな事業についても調査研究していきます。

スポーツ施設や文化むらについては、利用者の利便性を考慮しつつ、引き続き指定管理者制度を活用するとともに、建物や設備で改修や修繕が必要な箇所については、計画的に対処していくことで効率的・効果的な施設運営に努めます。

### 主な取り組み内容

- 町民体育祭及びスポーツ・レクリエーション祭の開催
- 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団と協力連携した各種事業の開催
- スポーツ施設及び文化むら施設の管理運営

## KGI（重要目標達成指標）

|                                | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|--------------------------------|---------------|---------------|
| スポーツ活動をしやすい環境の整備について満足している人の割合 | 27.9%         | 29.3%         |
| 芸術文化の振興について満足している人の割合          | 28.0%         | 29.4%         |

## KPI（重要業績評価指標）

|  | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|--|---------------|---------------|
| スポーツ事業への参加者数                             | －             | 3,500人        |
| 芸術文化事業への参加者アンケートの満足度<br>（事業団文化振興事業アンケート） | 87.0%         | 100.0%        |
| 文化むら施設利用の稼働率                             | 42.6%         | 70.0%         |



## 6 文化財の保存と活用

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
| ゴール   |  |  |  |
| ターゲット | 8.9   | 11.4  | 17.17   |

### 現状と課題

町内にある建造物や史跡、地域の伝統芸能など、歴史上または芸術上重要なものについては、町の文化財として指定するとともに、町ホームページへ掲載するほか、伝統芸能まつりや大泉かるた原画展などのイベントを通じて広く紹介しています。

また、埋蔵文化財については、「仙石専光寺付近遺跡」の整理作業を進めており、新たな埋蔵文化財資料として保存していくとともに、特に貴重なものは文化むらで展示公開をしています。

さらに、町内の歴史等のスポットについては、「歴史ウォーキング」の中で職員が解説を行うなどにより認知度向上に努めており、これらの取り組みを通じて、町民の町の歴史に関する理解促進や文化財保護への意識高揚を図っています。

歴史文化に対する町民の関心を高め、後世に引き継いでいくためには、今後も継続して文化財等の保存活用を図っていくことが重要です。

歴史文化及び文化財の周知に向けたイベントについては、内容をより効果的なものとするための検討を行うとともに、伝統芸能については、保存継承のための活動機会の確保に努める必要があります。

### 施策の基本方針

無形文化財及び伝統芸能については、保持者やその団体が行う活動に対して支援を行うとともに、関連するイベントの開催などを通じて広く周知していくことで、町民の文化財に対する関心を高めていきます。

また、埋蔵文化財については、引き続き「仙石専光寺付近遺跡」の整理作業を進めていくとともに、既に記録保存しているものも含めて活用方法を検討していきます。

### 主な取り組み内容

- 無形文化財保存団体等の活動機会の提供
- 町の歴史の周知及び理解促進
- 「大泉かるた」の活用
- 遺跡の記録保存及び埋蔵文化財の保存活用

### K G I（重要目標達成指標）

|                         | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|-------------------------|---------------|---------------|
| 文化財の保存と活用について満足している人の割合 | 20.5%         | 21.5%         |

### K P I（重要業績評価指標）

|  | 2020年度<br>基準値 | 2025年度<br>目標値 |
|--|---------------|---------------|
| 町の歴史や文化、文化財への関心が高まった人の割合<br>(事業参加者アンケート) | 96.8%         | 100.0%        |
| 町の歴史や文化、文化財に関する展示会等の来場者数                 | —             | 800人          |
| 埋蔵文化財に関する情報発信の回数                         | —             | 4回            |